

# 香川県の地震

令和4年(2022年)2月

## 香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・ 1
地震概況	・・・ 1
香川県の地震表(震度1以上)	・・・ 該当地震なし
震度分布図	・・・ 該当地震なし

## 南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会<sup>(注)</sup>

評価検討会調査結果 令和4年(2022年)3月7日	・・・ 2
(注)直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。	

## 地震一口メモ

フンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化のメカニズム等の分析及び情報発信の強化について(当面の対応)	・・・ 3
--	-------

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

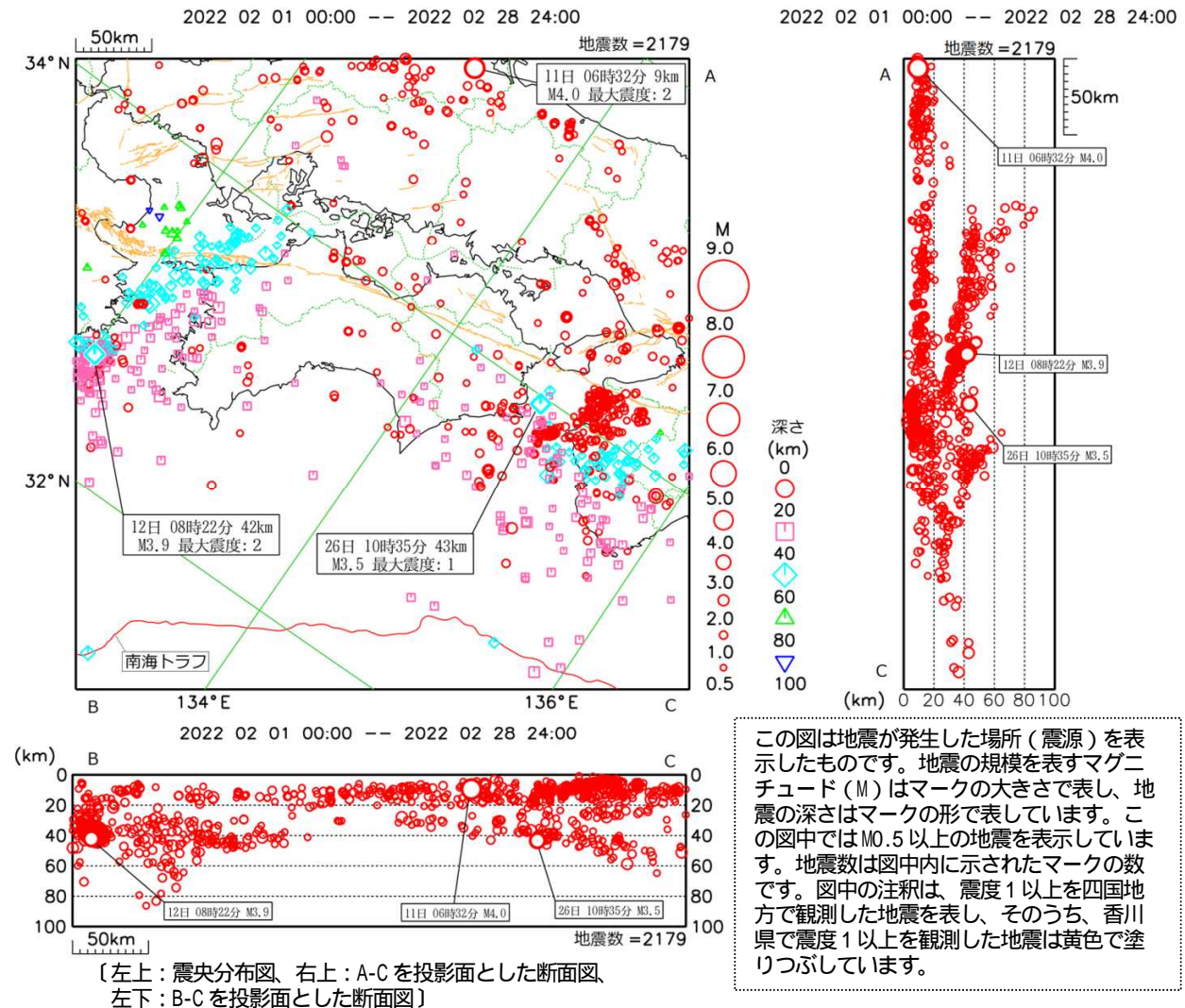
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

# 【香川県の地震活動】

2022年2月

## 震央分布図、断面図



## 地震概況

香川県で震度 1 以上を観測した地震は、ありませんでした（前月は 2 回）

四国で震度 1 以上を観測した地震は、次の 3 回でした。

11 日 06 時 32 分 島根県東部の地震（深さ 9 km、M4.0）により、鳥取県米子市・境港市、島根県松江市・出雲市・安来市・雲南市・奥出雲町で震度 2 を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、愛媛県で震度 1 を観測しました。

12 日 08 時 22 分 日向灘の地震（深さ 42 km、M3.9）により、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度 2 を観測したほか、愛媛県、熊本県、大分県、宮崎県で震度 1 を観測しました。

26 日 10 時 35 分 紀伊水道の地震（深さ 43 km、M3.5）により、兵庫県洲本市・南あわじ市、和歌山県有田市・御坊市・湯浅町・由良町・日高川町、徳島県徳島市・美馬市・阿南市・勝浦町・上勝町・牟岐町・那賀町・美波町で震度 1 を観測しました。

## 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

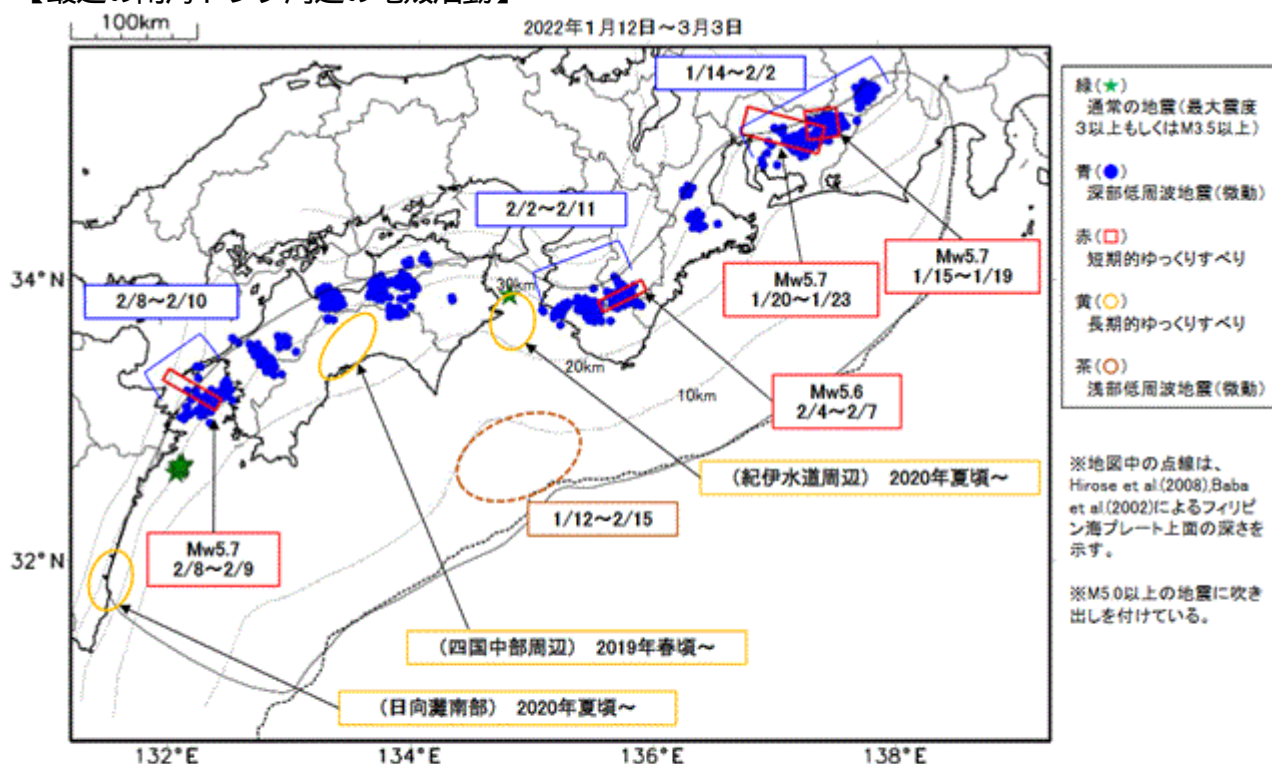
気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

令和4年(2022年)3月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

### 【調査結果(概要)】

南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

### 【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。  
 短期的ゆっくりすべり.....【東海】気象庁の解析結果による。【紀伊半島中部から西部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果による。  
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。  
 浅部低周波地震(微動).....【室戸沖から紀伊水道沖】防災科学技術研究所の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青)、短期的ゆっくりすべり(赤)、長期的ゆっくりすべり(黄)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2203/07b/nt20220307.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム> 防災情報> 南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

# 【地震一口メモ】

## フンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化のメカニズム等の分析及び情報発信の強化について（当面の対応）

令和4年1月15日に発生した、フンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化に関する情報発信において、主に「観測された潮位変化のメカニズム等が明らかでなかったため、津波警報等の発表までに時間を要した」噴火発生から津波警報等の発表までの間の情報発信が不十分だった」といった課題がありました。

これらの課題について、当面、有識者による潮位変化のメカニズム等の分析・情報発信のあり方の検討や「遠地地震に関する情報」を活用した情報発信を行います。

### (1) 有識者による潮位変化のメカニズム等の分析・情報発信のあり方の検討

今般の噴火で発生した潮位変化のメカニズム等を分析するため、「津波予測技術に関する勉強会」を開催します。令和3年度中に2回程度開催し、分析結果を取りまとめる予定です。第1回（通算第19回）をすでに、令和4年2月14日（月）に開催しています。

さらに、火山噴火等に伴う潮位変化に対する情報発信のあり方を議論するための検討会を開催します。令和4年度前半に3回程度開催し、検討結果を取りまとめる予定です。

また、これらの会議において、調査・研究や監視・評価に資する技術開発等、中長期的に取り組むべき課題への対応方針も議論します。

### (2) 「遠地地震に関する情報」を活用した情報発信

上記会議において取りまとめられるまでの当面の情報発信として、海外で大規模噴火が発生した場合や、大規模噴火後に日本へ津波の伝わる経路上にある海外の津波観測点で潮位変化が観測された場合に、「遠地地震に関する情報」により、日本でも火山噴火等に伴う潮位変化が観測される可能性がある旨をお知らせします（情報文のイメージを右に示します）。また、その後の国内外の潮位変化に応じて、津波警報等の仕組みを活用して津波警報や津波注意報を発表します。なお、会議の議論の進展を踏まえ、適宜、運用の改善を図ります。

### 大規模噴火が観測された際に発表する「遠地地震に関する情報」（情報文のイメージ）

#### 地震情報（遠地地震に関する情報）

15日13時10分ごろ、海外で規模の大きな地震がありました。

震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。

詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAAAC）による）。この噴火に伴って通常とは異なる津波が発生した場合、日本への到達予想時刻は不明です。

海外の検潮所での津波の観測状況については、随時お知らせします。

今後の情報に注意してください。

### 大規模噴火に伴い、海外の検潮所で潮位変化が観測された際に発表する「遠地地震に関する情報」（情報文のイメージ）

#### 地震情報（遠地地震に関する情報）

15日13時10分ごろ、海外で規模の大きな地震がありました。

震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。

詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。

太平洋の広域に津波発生可能性があります。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAAAC）による）。既に観測された各地の津波の高さは以下のとおりです。

\*印の津波の高さは太平洋津波警報センター（PTWC）による。

国・地域名	検潮所名	津波の高さ
トンガ	ヌクアロファ	0.8m*
フィジー	スバ	0.3m*
米領サモア	バゴバゴ	0.6m*
クック諸島	ラロトンガ島	0.3m*
サモア	アピア	0.2m*

この噴火に伴って通常とは異なる津波が発生した場合、日本への到達予想時刻や予想される津波の高さは不明です。

今後の情報に注意してください。

（注1）本情報の冒頭に「海外で規模の大きな地震がありました。」や「震源地」とありますが、これは「遠地地震に関する情報」を作成する際に自動的に付与される文言です。実際には、規模の大きな地震は発生していない点に留意してください。

（注2）火山噴火に伴う潮位変化の呼称については、今後検討していきますが、当面は、防災対応の呼びかけとして「津波」と表記します。

（注3）地震に伴い発生する通常の津波が日本に到達する場合、【領域名】で日 時頃と予想されます。場合によっては、これよりも早く到達する可能性があります。

令和4年1月15日に発生したフンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山の大規模噴火においては、13時10分頃に噴火し、父島二見（火山から約7,000km）で通常の津波の到達予想時刻より2時間半程度早く19時58分に、勝浦市興津（火山から約7,700km）で通常の津波の到達予想時刻より3時間程度早く20時20分に、第一波を観測しました。